

# NPO 富里のホタル

NPO法人 NPO富里のホタル 編集委員会 発行 2009.10.25 第12号

## ▼第3回通常総会のお知らせ

第3回通常総会を下記の日程で開催します。総会では、今年度の活動報告と来年度の事業計画等について審議します。

【通常総会】平成21年1月30日(土) 午後1時30分～2時30分

●会場:中沢区集会場

●議事:事業報告、事業計画、収支計画、及び役員改選など

【懇親会】同日、午後2時40分から同会場にて

●役員を交えて、会員の皆さまとの懇親会を開催します。この機会に会員相互の交流を深め、当会に対するご意見やご要望などをお聞きして、今後の事業活動に活かして行きたいと思っております。



総会の様子

## ▼講演会のお知らせ(予告)



次回講演会は、来春3月に堂本暁子さんをお招きして開催することとなりました。

演題は未定ですが、里山や生物多様性についてお話し頂く予定です。

なお、詳細は次号にてお知らせ致します。

●堂本暁子さんのプロフィール:1932年USAカリフォルニア州に生まれ、東京で育つ。東京女子大学文学部卒業後、TBSに入社。記者・ディレクターとして、教育、福祉、ODA問題などを中心に取材。参議院議員として、環境基本法、生物多様性条約、NPO法、DV法など多くの審議、立法活動に関わってきた。2001年、千葉県知事に就任。

●主な著書:「生物多様性一命の豊かさを育むもの」、「温暖化に追われる生き物たち一生物多様性からの視点」など

## ■里山ウォーキング(参加者22名)富里の魅力再発見!



▲スイカ柄に塗装された国内最大級(33.8m)のガスタンクをバックに記念撮影

金木犀の花が香る9月26日(土)、中沢区集会場を起点に約10kmの周回コースを約4時間かけて、22名全員が完歩しました。小学1年生の森あやかさんは、山栗拾いなど、自然との触れ合いを楽しみながら元気に歩き通して、大人達を驚かせていました。「富里にこんな魅力的な場所があるとは、知りませんでした」と、参加者の満足した様子に、来春の企画に思いが巡りました。

(\*)中沢稲荷神社→千葉ガスタンク→天神谷津(ヘイケボタル発生地)→観照院→白幡神社→高野六地藏六観音→高野運動公園→庚申塔(立沢)→ナイキジャパン・サッカー場→集会場

稲刈り直後の天神谷津の畦を歩く▼



## ■草刈りボランティア(参加者20名)爽やかな汗!

10月10日(土)、ホタル保護地(天神谷津・地藏谷津)の草刈りボランティア20名が天神谷津の駐車場に集合。早速、地藏谷津と天神谷津のグループ二手に分かれて作業を開始しました。台風18号の上陸直後のため、天神谷津の木道沿いに枯れ枝が散乱していましたが、女性の手を借りて1時間程できれいに片付けました。

休耕田にはびこる雑草は12台の刈払い機を駆使して、周囲の安全を確保しながら刈り倒して行きますが、絡みつく雑草に苦戦を強いられました。予定の作業時間を大幅に超えてしまい、ボランティアの皆さんもさすがに疲れた様子でした。それでもサッパリした里山風景に達成感があり、来夏のホタル発生に期待が膨らんだ一日でした。

【お願い】富里中央公園「ふれあい水鳥の池」の草刈りは、別途計画中です。ボランティアによる皆様のご協力をお待ちしています!



▲ゲンジボタル発生地「地藏谷津」の草刈り作業。今夏も多数の飛翔が観察された。

## ■芋煮&バーベキュー大会 秋の味覚に大満足!(参加者40名)

10月24日、中沢区集会場で恒例の芋煮会を行いました。準備から片づけに至るまでの作業を皆さんが自主的に行ってください、鍋やコンロを囲みながら話がはずみ、交流を深めることができました。味噌仕立ての山形庄内風?の芋煮も上出来で美味しく頂きました。



たち込める煙の中、賑わう会場

富里にスポーツ吹矢を普及させたいと願う、公認指導員の松永さん(写真中央)と奥様のご協力によりスポーツ吹矢を楽しむことができました。



▲現在特許出願中の玄米ごはんの炊飯法を説明する江島さんに、主婦の皆さんから熱心な質問が寄せられました。

## コラボレーション!

このコーナーでは、熱い想いを抱いて活動に取り組んでいる市内および近隣の、さまざまな団体を不定期にご紹介します。初回は、「福寿草保護管理委員会」です。

私達は、異なる分野で活動している方々と交流・連携する必要があると考えています。それぞれの持つ知識やノウハウに触れ、新しい方向性が見える事もあるのではないかと思います。

底流で共通項を持つ人々とのコラボレーション(協働)を目指します。



▲赤い目串は数量調査用(2009/3/15撮影)

## “福寿草にかける夢”

「福寿草保護管理委員会」

会長 白神公男 さん

早春の林で真っ先に開花する福寿草ですが、林床の荒廃や激しい盗掘によって、自生地は県内でも数ヶ所になってしまっています。市内大和地区の自生地は大変貴重で、県立中央博物館の助言もあり、昨年6月に市指定文化財(天然記念物)となりました。

私達はその自生地を保護しようと、所有者のご了解のもと、草刈りや数量調査を行っています。数十年前は、市内のあちこちで、地面が黄色に染まるように福寿草が咲いていたというお話を伺い、いつの日か、そのような景色を富里に再現出来れば...と夢見ています。



## ★天神谷津★ いのち 生命のにぎわい

天神谷津の斜面林では、たくさんのアケビが見られますが、写真のものは、木道から手の届くところに実を結んだミツバアケビです。秋になり熟すと、外は上品な紫色になり、縦に裂けると輝くような内部の白い果肉が姿を現します。黒い種だらけの甘い果肉を口に含んだ事のある方も多いのではないのでしょうか。つるは丈夫なので、工芸品としてカゴなどを編むのに利用されます。厚い果皮を肉詰めや味噌焼き、若葉をおひたしや天ぷらで食べる地方もあるようです。

## あけび

(2009/10/10撮影)



▲アケビの実



▲アケビのつる

## 会員紹介

### 小西太郎さん(85才)



いつもお元気で、草刈りや視察研修旅行に参加されている小西さんは、ゲンジボタルの最多発生地「久能」に近い北大和にお住まいです。出身地は長崎市。海軍兵役中、原爆により二次被曝されました。松浦炭鉱で先山(さきやま)\*として現場の最前線で活躍。労働運動を経験して25歳で上京後、83歳まで旋盤工として機械加工の現役で奮闘されました。

富里の里山を愛し、居住地周辺の雑草を、指でキレイに引き抜く“おじーさん”で有名です。何事にも積極的で、黙々と作業される姿に頭が下がる思いです。

(\*)炭鉱・鉱山などで、直接に切羽(きりは)で採掘に当たる経験豊かな作業員。

## 会員募集

★ホームページ NPO 富里のホタル 開設、アクセスお待ちしております!! ★

URL <http://www4.ocn.ne.jp/~okgo/>

NPO 富里のホタルは、中央公園や谷津田で、ホタル発生のための自然環境保護活動を行っています。活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費:2000円)

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161

会員110名超える!